

## 平成29年度 事業報告

設置者	学校法人志田学園				
幼稚園名	認定こども園鈴川幼稚園				
理事長	志田 直正	園長	志田 直正		
所在地	静岡県富士市鈴川東町 16 番 17 号				
定員数 (利用定員)	90名 (75名)	認可クラス	年少	年中	年長
		学年定員数	1 30名 (25名)	1 30名 (25名)	1 30名 (25名)

学級名	3歳児(満3歳児)			4歳児			5歳児			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
ばら	12	2	14							14
もも				13	14	27				27
せんだん							12	5	17	17
(ゆり)	2	3	5							5
合計	14	5	19	13	14	27	12	5	17	63
	男	女	学年計	男	女	学年計	男	女	学年計	園児数合計

(平成30年3月)

卒園児数(平成29年度)	
男	12
女	5
合計	17

教員数		職員数	
園長	1	事務員	
教頭(副園長)	1	事務員	1
保育教諭	6	用務員	
助教諭		栄養士	2
養護教諭		運転手	2
講師		警備員	
その他		その他(年少組補助)	1
合計	8	合計	6

建物面積	567 m <sup>2</sup>
土地面積	1,977 m <sup>2</sup>

平成29年度 事業報告

事業方針	事業の推進	<p>平成29年度、建学の精神に基づく教育方針を根幹として、今年度の教育目標の達成に向けて、教育部門の適切な遂行を図るとともに、管理部門との連携を密に保ちつつ、園の運営を推進した。</p> <p>なお、前年度と同様に緊急災害時への適切な対応等、安全面に主眼を置いて、施設環境の点検と整備に努め、避難訓練等、安全教育の徹底を図った。</p> <p>また、本園は、平成27年度から認定こども園（幼稚園型）に移行して3年が経過し、子ども子育て支援新制度に則り、事業の推進を図ってきた。</p>	
	予算編成の基軸	<p>今年度の本園の教育研究上の目的を根幹として、関連事業計画の遂行・達成を図るために、適切な財務状況を維持し運営することを予算編成の基軸とした。特に、本園の教育・研究目的の達成のために必要な経費の確保と、収入・支出のバランスを考慮した予算編成を行なった。</p>	
	具体項目	内 容	
1	教育内容	各学年の『ねらい』を全職員が共通理解し、3ヵ年の保育課程を見通し、園児ひとりひとりの成長に即した指導・援助を行うことによって、教育目標の達成をめざした。	各学年の「ねらい」を全職員が常に明確に把握し、園児の教育とともに保護者への支援と指導に努めてきた。小規模幼稚園の特徴を生かして、園児ひとりひとりの成長・発達の実態を把握し、園児各々の発達段階に応じた教育・援助をすることができた。
2	研究内容	園内で子どもたちと共に収穫する作物を食材とし、「食育」の観点から子どもの成長・発達を考察する。あわせて、本園の恵まれた自然環境のもとで、自然に親しむ教育・研究に努める。	「食」をめぐって、園児が食材の収穫と自然体験を実践し、園児自らによる給食の体験学習について考察する。また、園児の家庭における「食」の実態を把握すると共に「食」をとおして、園と家庭の連携を図る。これらの取り組みの過程を総合して、園児の「食育」に関する考察を進める。また、全庭内砂地を活用した体力作りを積極的に進めた。
3	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育力の活用</li> <li>・地域づくりの参加と貢献</li> <li>・園の地域への開放</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元中学生との交流・・・夏まつり（7月29日）</li> <li>造形まつり（2月10日）</li> <li>・デイケアセンター「はまかぜ」交流会・（12月）</li> <li>・元吉原地区文化祭への参加</li> </ul>

		(別紙年間行事参照) ・地域との連携	・企業とのコラボでミカン狩り実施(12月12日) ・未就園児の会(年間20回)③PTAバザー(10月) ・災害避難訓練④学校防災教育連絡会議(7月)
4	施設設備	・安全性の確保 ・適切な教育環境の整備 ・施設の整備・改善	・園舎・園庭の諸整備および遊具の安全に常時細心の注意を払い、定期的な点検と整備に努めてきた。 ・本園の恵まれた豊かな自然環境を園児の重要な教育環境を損なわないため整備と、その活用を図った。 ・遊戯室の古い床を安全清潔を保つため全面改修した。その他古い施設に関しては、常時観察し補修等に努力している。
5	管理運営	・管理・運営体制の整備 ・管理と教育の適切な運営 ・自己点検・評価活動への取組み	・園の目的達成に向けて、管理運営が園の教育の効果に適切に反映できるよう、常に職員同士の職員会議・連絡会議をとおして綿密な連携を図り、その推進に努めた。 ・自己点検・学校関係者評価を実施して、結果をホームページで公表し、点検と評価の結果を慎重に検討して、教育環境の改善と教育内容の充実に努めた。
6	財務	・財務基盤の安定化 ・適切な会計処理 ・財務情報の公開	・園の教育活動の質的な充実と向上、及び、施設・教育環境の整備と充実を図るため、小規模幼稚園としての経営のもとに、良好な経営状況を維持する予算の実行に努めた。 ・職員の職場環境をできるだけ良くする為財務の可能な限り適切な対応に努力した。また、園児に対しても可能な限り環境改善に努めた。一方、無理無駄な経理の執行はせずに適切な会計処理に努めた。 ・財務状況に関して、ホームページで適切に公開した。